



環境活動レポート

この場所は、未来の
子どもたちからの借り物だから

大事なものは、地球をいつくしみ、自然環境を思いやる心を育てること。
そのために必要なのは、次世代への環境教育です。

地球環境についての正しい知識を次世代に伝え、
未来について考えてもらうことは、私たちの世代の義務なのです。
これからの未来を作っていくのは子供たちです。

子どもたちの未来のために、出来ることから始めよう！

平成 31 年度
(H31.4. ~R2.3)

令和 2 年 6 月 1 日作成

電気で快適なエコ生活を♪

青森電気工業

目 次

I. 環境方針	1
II. 事業活動の概要	2~3
III. 環境目標とその実績	4~9
IV. 主要な環境活動計画の内容	10~12
V. 環境活動の取組結果の評価	13
VI. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	14
VII. 代表者による全体評価と見直し結果	14

環境経営方針

【環境経営理念】

青森電気工業株式会社は、美しい自然環境を次世代に引き継ぐ為に設備工事に係る企業活動を通じて、環境活動の必要性を社員全員が認識し、環境保全体制を構築し、その実現に努めます。

また、時代のニーズに適応したサービスを心掛け、地域社会に貢献し、地域に根差した企業を目指しながら、成長を続けていきます。

【環境経営方針】

1. 企画・設計段階において、省エネルギー、高効率化等を活用し環境に配慮した商品等の提案を積極的に行います。
2. 事業活動において、環境負荷の低減と環境改善を図るために次の項目について重点的に取組みます。
 - 1) 二酸化炭素排出の削減
 - 2) 廃棄物の排出削減及びリサイクル向上
 - 3) 水使用量の抑制
 - 4) 化学物質の適正管理
 - 5) グリーン購入の推奨
 - 6) 環境配慮製品の販売促進
3. 環境保全に関する社会の変化、技術の変化に的確に対応し、環境経営の継続的改善を推進します。
4. 環境保全に関する法規等を遵守します。
5. 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 社会の変化に対応した働き方を推進し、生産性の向上に努めます。
7. 年配と若手とのバランスの取れた年齢層の企業を目指し、技術継承や人材育成に努め、社会貢献に寄与します。
8. 全社員に環境に関する教育を行い、環境保全に関する知識の向上を図ります。
9. 環境活動レポートを社内・外に公表し、社会との環境に関するコミュニケーションを図ります。

平成21年 7月 1日 制定

平成28年11月 1日 改定

令和 元年11月 1日 改定

青森電気工業株式会社
代表取締役 畑中 健一

II. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

青森電気工業 株式会社 代表取締役社長 畑 中 健 一

(2) 所在地

本 社：青森県十和田市大字三本木字稲吉121-53
六ヶ所営業所：青森県上北郡六ヶ所村大字出戸字岡畑170-3

(3) 環境管理の責任者氏名と連絡先

責任者 取締役 畑中 直美 TEL 0176-23-2546

(4) 事業内容

電気工事業・土木工事業・管工事業・電気通信工事業・消防施設工事業

(5) 事業の規模

H30	単位	活動内容	備考
売上高	百万円	563	H30.7～H31.6
従業員	人	34	
延べ床面積	m ²	547.25	

(6) 事業年度

平成31年度(平成31年4月から令和2年3月まで)

(7) その他

電 気 工 事 業 : 青森県知事許可(特-29) 第1067号
土 木 工 事 業 : 青森県知事許可(般-29) 第1067号
管 工 事 業 : 青森県知事許可(般-29) 第1067号
電気通信工事業 : 青森県知事許可(般-29) 第1067号
消防施設工事業 : 青森県知事許可(般-29) 第1067号

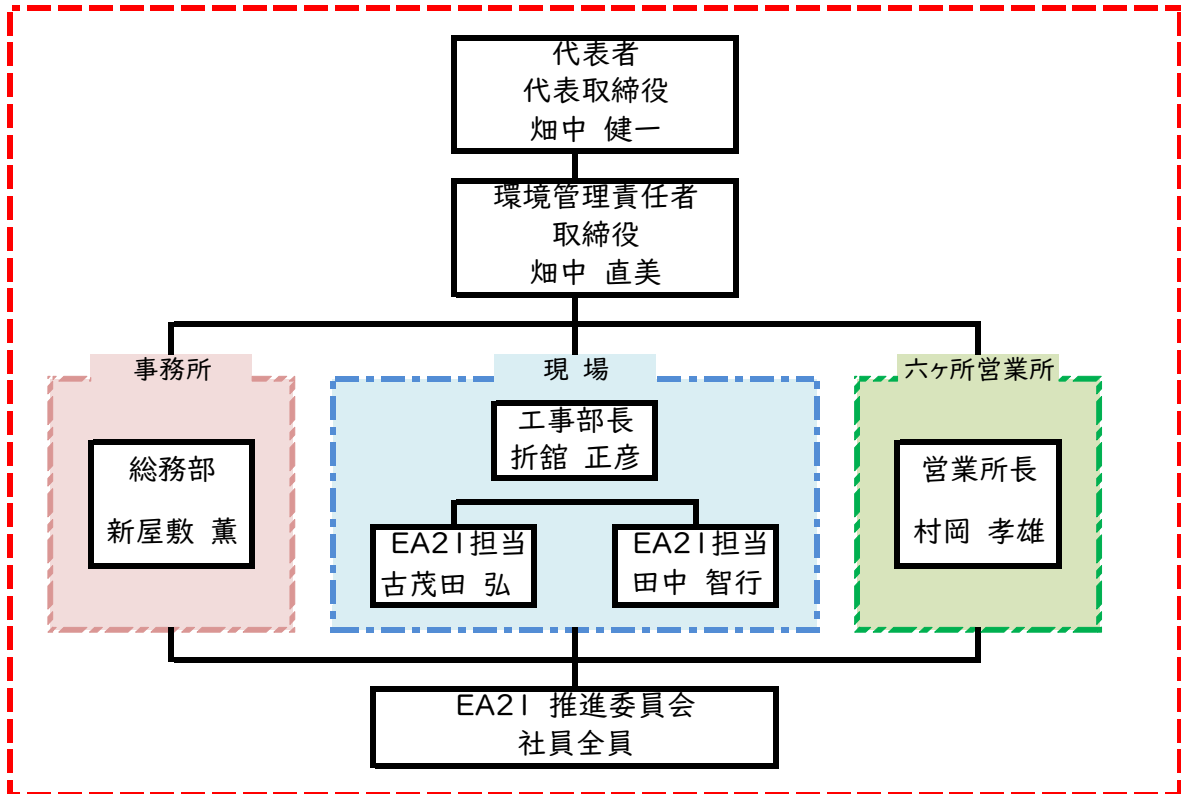
(8) レポートの対象期間及び発行日

平成31年度(平成31年4月から令和2年3月まで)・令和2年6月1日発行

(9) 対象範囲(認証・登録の範囲)

青森電気工業株式会社の全組織及び全活動

(10) EA21実施体制図



2、役割と責任・権限

役割	氏名	役割・責任・権限
代表者	代表取締役 畑中 健一	①環境経営に関する統括責任 ②環境管理責任者の任命 ③取組に対する必要な設備の設置 ④環境管理責任者の任命及び実施体制の構築 ⑤環境経営方針の策定 ⑥経営における課題とチャンスの明確化 ⑦全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	取締役 畑中 直美	①環境経営システムの構築、実施、管理 ②環境目標、環境活動計画書の作成 ③代表者への報告 ④各担当の状況、把握
総務部	新屋敷 薫	①従業員に対し、必要な教育訓練を計画し実施 ②環境方針、環境目標 達成の取組の推進 ③環境負荷の自己チェック及び環境保全の取組計画 ④環境活動レポートの作成、公開
工事部 六ヶ所工事部	折館 正彦 村岡 孝雄	①環境負荷の自己チェック及び環境保全の取組の実施 ②環境活動の実施及び是正・改善の実施 ③環境方針、環境目標の周知 ④環境活動の実施及び是正・改善計画
EA21推進委員会	従業員全員	①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚・実施 ②環境活動へ自主的・積極的に参加 ③活動の是正や改善を提案

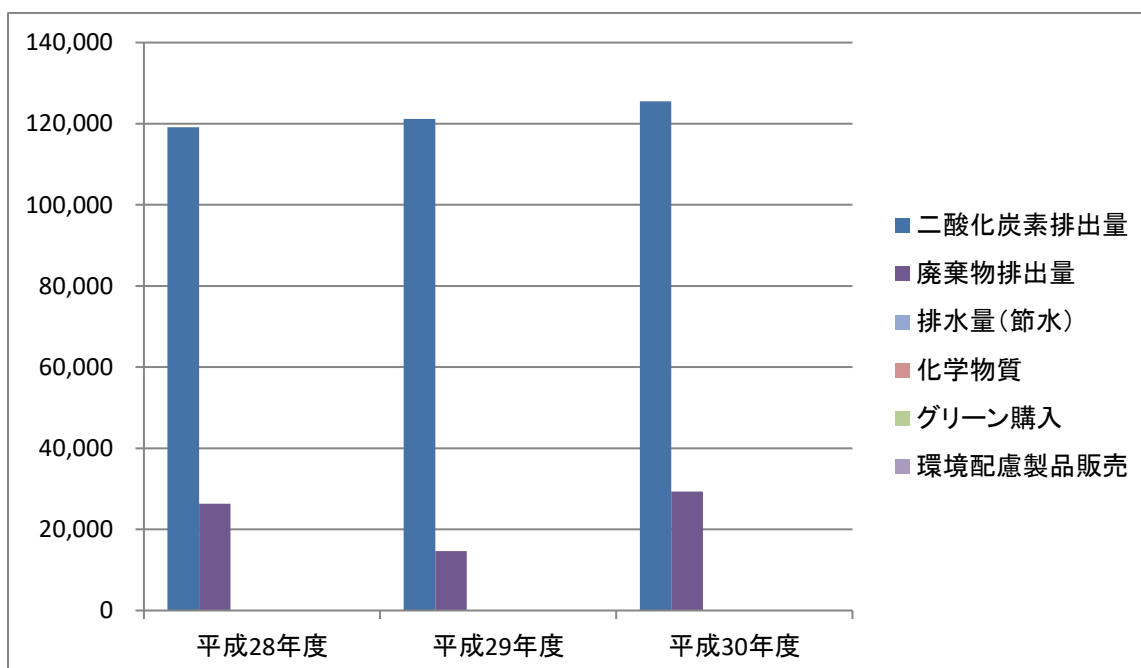
Ⅲ. 環境目標とその実績

(1) 前年度までの排出量実績

表1. 主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	121,192	149,199	155,952	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	1,787	1,930	1,933	
建設副産物 (リサイクル率)	%	87.8	93.4	94.7	
水使用量	m ³	81	100	101	
化学物質	kg	0	0	0	
グリーン購入の推奨	品目数	30	50	57	
環境配慮製品の販売	件数	40	30	30	

※平成29年度から六ヶ所営業所が開設されたため、
年度途中からの六ヶ所営業所実績分も含む。



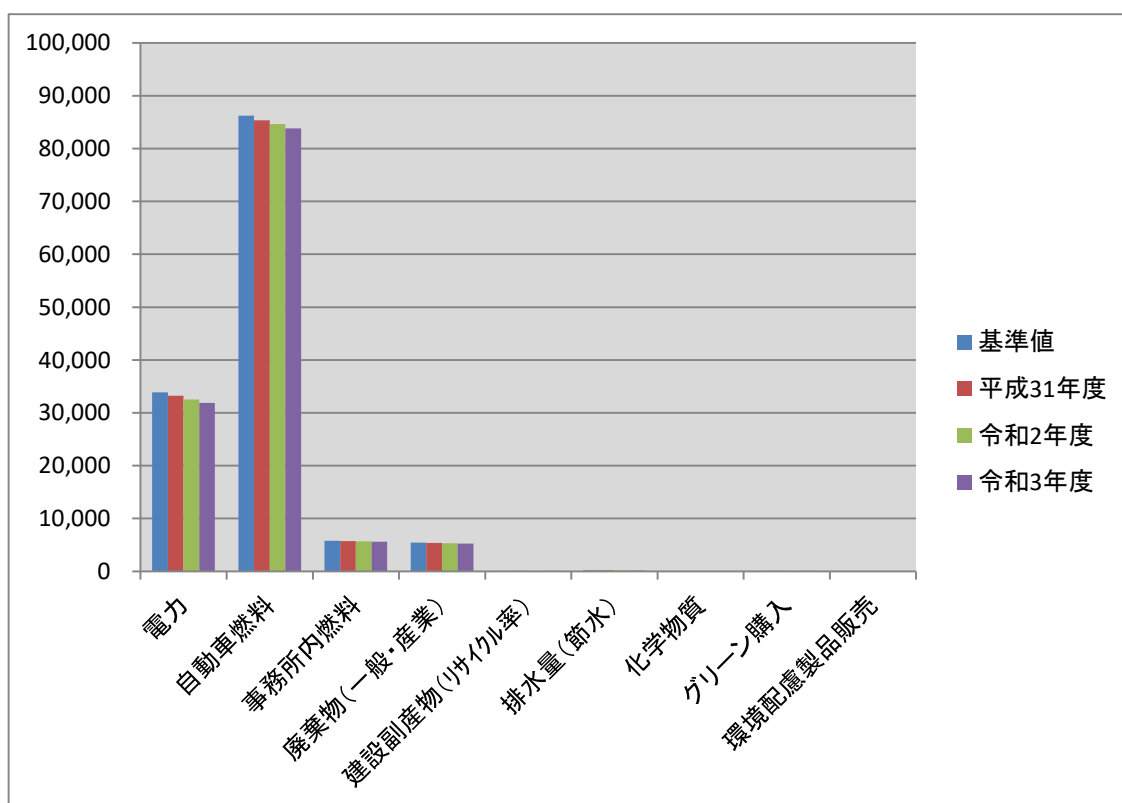
(2) 環境目標の設定

日頃から全社で無理なく環境問題に取り組み、環境への意識改革ができるようにしている。
また、その他の環境活動にも社員一丸となって、積極的に参加できる体制づくりを実施している。

表2. 環境目標

項目	単位	基準値	目標					
			平成31年度		令和2年度		令和3年度	
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	246,752	244,106		241,872		239,226	
電力	kWh	33,896	98%	33,218	96%	32,540	94%	31,862
自動車燃料	L	86,234	99%	85,371	98%	84,669	97%	83,806
事務所内燃料	L	5,811	99%	5,753	98%	5,703	97%	5,645
廃棄物								
廃棄物(一般・産業)	kg	5,457	99%	5,402	98%	5,348	97%	5,293
建設副産物(リサイクル率)	%	77	###	78	###	79	###	80
水使用量	m ³	187	99%	185	98%	184	97%	181
化学物質の適正管理	kg	0	-	0	-	0	-	0
グリーン購入の推奨	品目数	69	###	76	###	83	###	90
環境に配慮した製品の販売	件数	36	###	40	###	43	###	47

※ 二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.528kg-CO₂/kwhです。



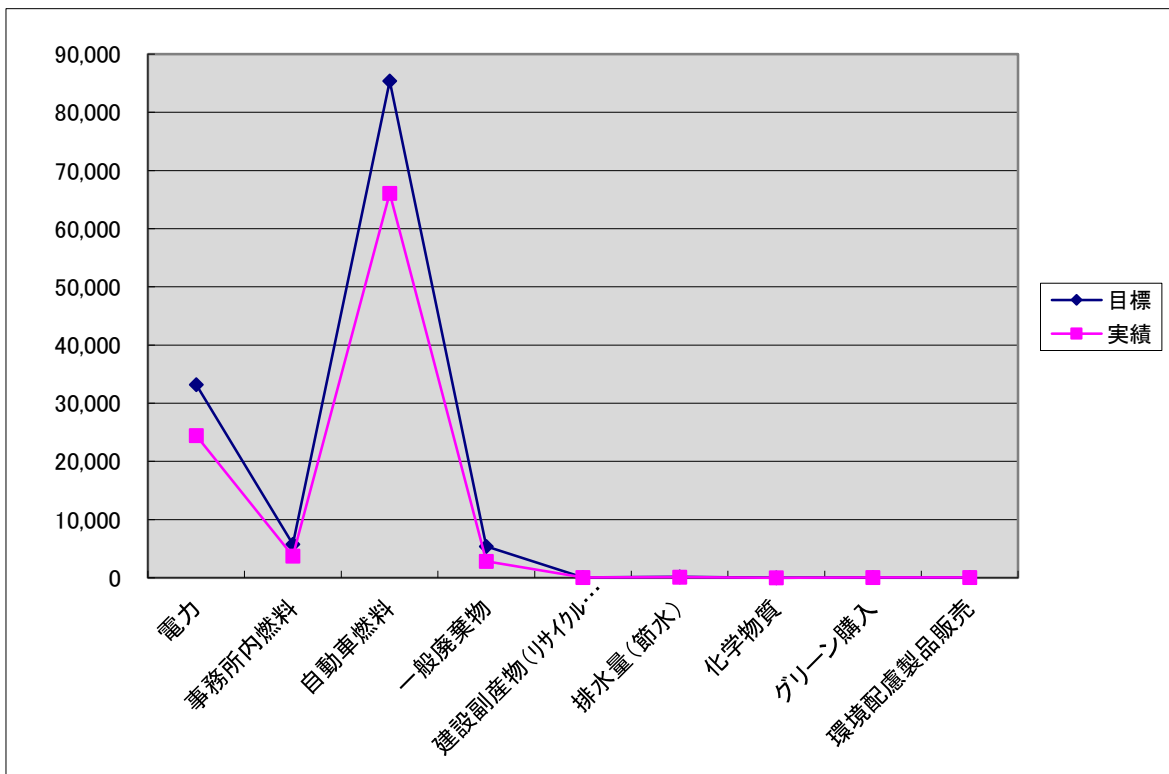
(3) 当該年度の環境負荷の実績と評価

今年度は近年の事業内容に応じた基準値に改め、社内全体で合わせた目標に見直しつつ、本社及び営業所、現場での環境活動を行った。

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標(全体)

項目	単位	基準値	平成31年度(H31.4~R2.3)		評価
			目標	実績値	
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	246,752	244,106	186,066	
電力	kWh	33,896	33,218	24,446	○
自動車燃料	L	86,234	85,371	66,085	○
事務所内燃料	L	5,811	5,753	3,750	○
廃棄物の排出量					
一般廃棄物	kg	5,457	5,402	2,833	○
建設副産物(リサイクル率)	%	77	78	87.0	○
水使用量	m ³	187	185	130	○
化学物質	kg	0	0	0	-
グリーン購入の推奨	品目数	69	76	83	○
環境に配慮した製品の販売	件数	36	40	48	○

※ 二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.528kg-CO₂/kwhです。

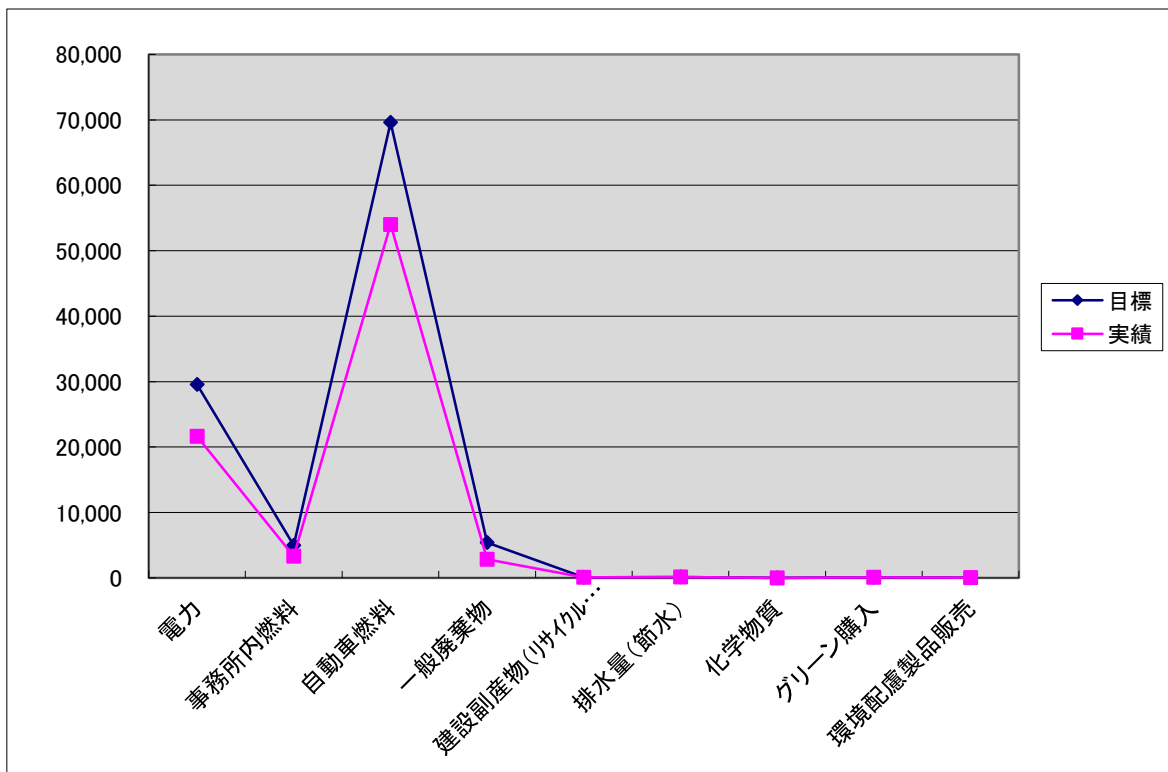


(3) 当該年度の環境負荷の実績と評価

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標(本社)

項目	単位	基準値	平成31年度(H31.4~R2.3)			評価
			目標	目標値	実績値	
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	203,523		201,328	153,878	
電力	kWh	30,145	98%	29,542	21,620	○
自動車燃料	L	70,296	99%	69,593	54,009	○
事務所内燃料	L	5,002	99%	4,952	3,299	○
廃棄物の排出量						
一般廃棄物	kg	5,457	99%	5,402	2,833	○
建設副産物(リサイクル率)	%	77	101%	78	87.0	○
水使用量	m ³	151	99%	149	120	○
化学物質	kg	0	-	0	0	-
グリーン購入の推奨	品目数	69	110%	76	83	○
環境に配慮した製品の販売	件数	36	110%	40	48	○

※ 二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.528kg-CO₂/kwhです。

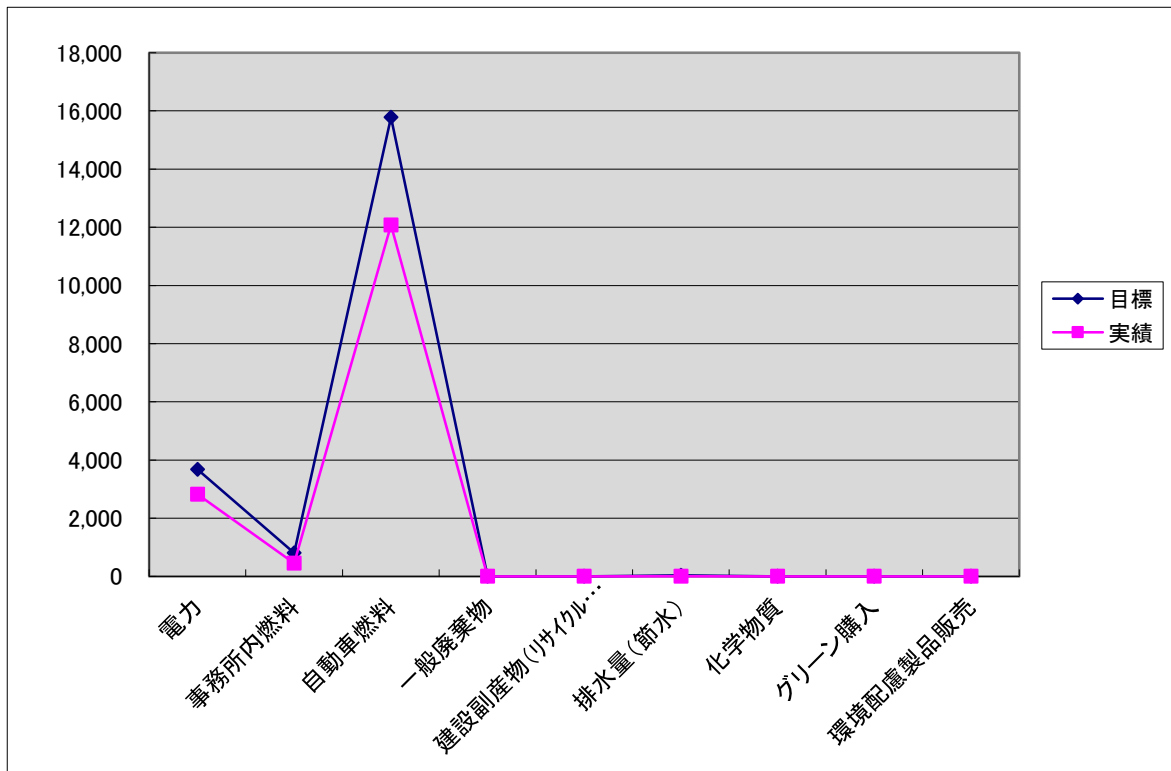


(3) 当該年度の環境負荷の実績と評価

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標(営業所)

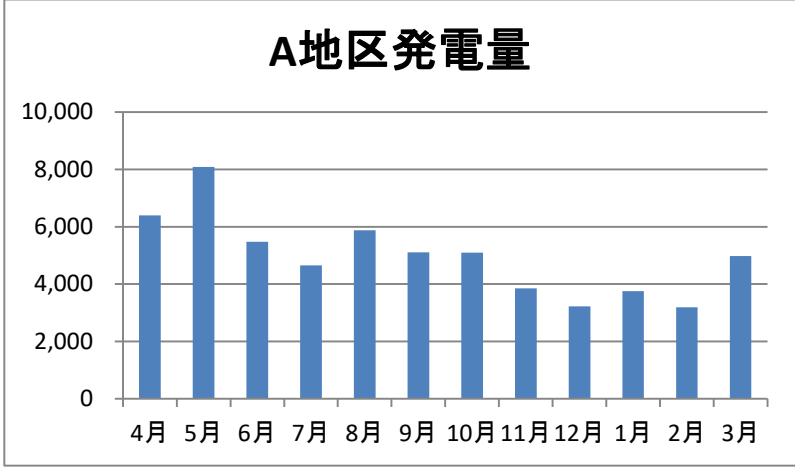
項目	単位	基準値	平成31年度(H31.4~R2.3)			評価
			目標	目標値	実績値	
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	43,229		42,777	32,188	
電力	kWh	3,751	98%	3,676	2,826	○
自動車燃料	L	15,938	99%	15,779	12,076	○
事務所内燃料	L	809	99%	801	451	○
廃棄物の排出量						
一般廃棄物	kg	0		0	0	-
建設副産物(リサイクル率)	%	0		0	0	-
水使用量	m ³	36	99%	36	10	○
化学物質	kg	0		0	0	-
グリーン購入の推奨	品目数	0		0	0	-
環境に配慮した製品の販売	件数	0		0	0	-

※ 二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.528kg-CO₂/kwhです。

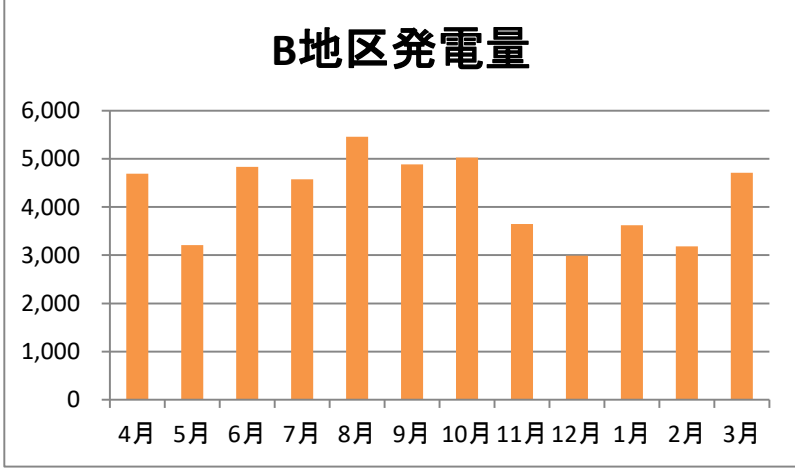


(4) 当該年度の太陽光発電実績

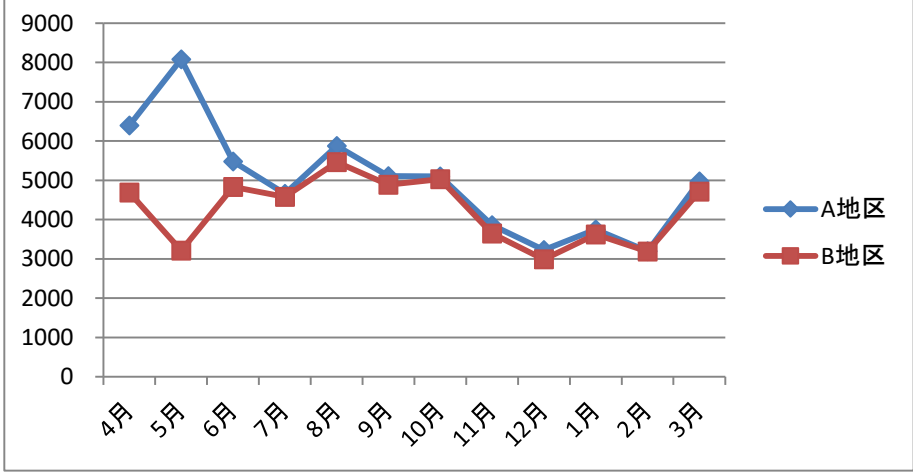
環境活動の一環として、また環境配慮製品の販売促進のため、発電量をデータ化し、販売促進へ繋げるように顧客への検討資料に使用している。



地区 :A
 パネルメーカー :A
 契約電力 :A



地区 :B
 パネルメーカー :B
 契約電力 :B



IV. 主要な環境活動計画の内容

取り組み計画	取組内容
電力の削減	クールビズ運動 OA機器・パソコンなどで使用していない機器の電源OFF OA機器の省電力設定 昼食時及び不使用時の消灯 業務工程の見直しによるノー残業デーの実施
自動車燃料(軽油・ガソリン)使用の削減	車両の適正管理 アイドリングストップ 急発進・急加速・急減速・急停車の防止 早めのシフトアップ、エンジブラーキの積極使用 エアコンを控えめにし、作業中のOFF 計画的な運行ルートで行動し、忘れ物を無くす
事務所内燃料(灯油・LPG)使用の削減	ウォームビズ運動 暖房の控えめ運転
一般廃棄物の削減	各自ごみの分別作業を心がける
リサイクルの推進	金属くず・電線くずの分別 廃電線有効事業活動への参加 ダンボール・古紙のリサイクル率アップ(オフィス町内会へ) ペットボトル・瓶・缶類等の飲料容器の分別 分別回収
化学物質の適正管理	建設作業現場における化学物質の使用量を適正に管理
上水使用量削減	節水呼びかけ 雨水利用による樹木の水やり 雨水利用による構内清掃
グリーン購入の推奨	事務用品等の新規購入において、グリーン購入を検討 (OA用紙や封筒等は、再生パルプ配合率に留意する) (文具・備品等は、エコマーク商品を購入する)
環境に配慮した製品	省エネ照明の販売 太陽光システム等の販売 環境配慮製品の販売

主要な環境活動計画の写真



ECO照明(センサー付) ①



ECO照明(センサー付) ②



一般廃棄物の分別化 ①



一般廃棄物の分別化 ②



産業廃棄物の分別化 ①



産業廃棄物の分別化 ②



リサイクル品の分別化 ①



リサイクル品の分別化 ②



配電線有効事業用電線くず



雨水



太陽光発電A ③



太陽光発電B ④



ハイブリット車



フォークリフト(バッテリー車)



新型クレーン搭載車



青森県水辺サポーター ① 活動前



青森県水辺サポーター ② 活動中



青森県水辺サポーター ③ 活動後



通報・情報連絡の確認



特殊車両及び資材の点検

V. 環境活動取組結果の評価及び次年度の目標と取り組み

エコアクション21の活動を通して平成31年4月から令和2年3月まで実施し、環境負荷量及び環境目標の達成状況等の評価を行った。

電力の削減、軽油及びガソリン使用料削減の取り組み結果及び評価を踏まえて、次年度へ向けての目標と取り組みについても合わせて、下表の通りとした。

今年度取組み						次年度への取組み						
計画	達成状況	基準年比	取組内容	結果	評価	目標	基準年比	取組内容				
電力の削減	基準年	33,896	kW _h	クールビズ運動	2	ACを適正な温度で使用。部分消灯が確実にされていないので、周知徹底をする。	基準年	33,896	kW _h	OA機器の省電力設定		
	目標	33,218		98%	OA機器の電源OFF		2	目標		32,540	96%	不使用時の部分消灯
	実績	24,446			OA機器の省電力設定		1					ノーマル作業の実施
					不使用時の部分消灯		1					
自動車燃料 (軽油・ガソリン) 使用量の削減	基準年	86,234	kg-CO ₂	車両の適正管理	2	低燃費車等へ入替しているの、各自運転する際の省エネ運転への心掛けが必要。	基準年	86,234	kg-CO ₂	エンジンブレーキの使用		
	目標	85,371		99%	アイドリングストップ		1	目標		84,669	98%	エアコンの控えめ運転
	実績	66,085			急発進・急加速の防止		1					計画的な運行ルート
事務所内燃料 (灯油) 使用量の削減	基準年	5,811	kg-CO ₂	ウォームビズ運動	2	ウォームビズ運動の周知徹底がされていた。	基準年	5,811	kg-CO ₂	ウォームビズ運動		
	目標	5,753		99%	暖房の控えめ運転		2	目標		5,703	98%	暖房の控えめ運転
	実績	3,750										
一般廃棄物の削減	基準年	5,457	kg	分別作業	2	確実な分別ができています。	基準年	5,457	kg	分別作業		
	目標	5,402		99%				目標		5,348	98%	
	実績	2,833										
建設副産物の (リサイクル率) 向上	基準年	77	%	金属・電線くずの分別	2	確実な分別ができています。	基準年	77	%	ダンボール・古紙の分別		
	目標	78		101%	廃電線有効事業活動		2	目標		79	102%	飲料容器の分別
	実績	87			ダンボール・古紙の分別		2					分別回収
節水	基準年	187	m ³	節水	2	雨水での洗車等もできていた。	基準年	187	m ³	節水		
	目標	185		99%	雨水での樹木の水やり		2	目標		184	98%	雨水での樹木の水やり
	実績	130			雨水での構内清掃		2					雨水での構内清掃
化学物質の 適正管理	基準年	0	kg	使用量の適正管理	-	現在使用していないが、使用があった際は適正に管理する。	基準年	0	kg	使用量の適正管理		
	目標	0		0%				目標		0	-	
	実績	0										
グリーン購入の 推奨	基準年	69	品目数	事務用品等の新規購入	2	積極的にグリーン購入、エコマーク商品の購入に努めていた。	基準年	69	品目数	事務用品等の新規購入		
	目標	76		110%	エコマーク商品の購入		2	目標		83	120%	エコマーク商品の購入
	実績	83										
環境に配慮した 製品の販売	基準年	36	件数	省エネ照明の販売	2	省エネ照明等環境配慮製品の販売、施工に努めていた。	基準年	36	件数	省エネ照明の販売		
	目標	40		110%	太陽光システム等の販売		2	目標		43	120%	太陽光システム等の販売
	実績	48			環境配慮製品の販売		2					環境配慮製品の販売

※ 評価 2:取り組んでいる 1:さらに取り組みが必要 0:取り組んでいない

VI. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情及び訴訟等について、問題はありませんでした。

VII. 代表者による全体評価と見直し結果

今年度は近年の工事施工内容等を踏まえた基準値に改めて、環境活動を実施することで従業員各々の環境意識の改善することができたと思う。

今まで電線くずは、廃棄物業者へ資源物として受け入れてもらっていたが、社会福祉にも貢献したいという思いが以前からあり、当社だけでなく他社にも賛同してもらえる企業があればと、副理事長に就任している上十三電気工事協同組合で提案したところ、当社の趣旨に賛同した企業が参加し、組合の新規事業として廃電線有効事業として実施する運びとなった。これにより、当社としては今まで通りの環境活動を実施しながら、従業員が地域の社会福祉に直接携わる事になったことで、社外への環境活動の周知にも繋がり、さらには社内での環境活動に福祉活動も加わったことで、全体の活動意識が大きく改善された。

今後も地域の社会福祉及び環境活動を合わせて、継続して実施していきたい。